中間型孤立性線維性腫瘍（solitary fibrous tumor, SFT)に対する重粒子線治療を受けられた皆様へ

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上など、より良い医療の発展のためには、多くの患者さんにご協力頂くことが必要です。

重粒子線治療を行う全国6施設において、以下の研究を実施しております。この研究は、診療で得られた過去の記録や治療計画データなどを使って行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い、同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、研究計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名]　中間型孤立性線維性腫瘍(solitary fibrous tumor, SFT)に対する重粒子線治療の観察研究

[実施期間]　2022 年許可日～2025 年 12 月 31 日

[研究代表者]

量子科学技術研究開発機構　量子生命・医学部門　QST 病院／今井　礼子

[研究代表者の所属機関及びその長の氏名]

量子科学技術研究開発機構　量子生命・医学部門（部門長：中野　隆史）

[共同研究機関及びその長の氏名／研究責任者]

研究機関の名称	研究責任者の氏名	研究機関の長の氏名
群馬大学重粒子線医学センター	岡本　雅彦	大野　達也（センター長）
九州国際重粒子線がん治療センター	松延　亮	塩山　善之（センター長）
神奈川県立がんセンター	加藤　弘之	古瀬　純司（センター長）
山形大学医学部東日本重粒子センター	佐藤　啓	根本　健二（センター長）
兵庫県立粒子線医療センター	ノルシャズリナスライマン	沖本　智昭（院長）

[研究の目的]中間型孤立性線維性腫瘍に対する重粒子線治療成績の検討を行います。

[研究の方法・情報の利用方法]

●対象となる方々

2016 年 4 月以降本研究開始時までに、各研究機関で中間型孤立性線維性腫瘍に対する重粒子線治療を受けた方で、2023 年 12 月 31 日までに各研究機関に来院されなかった患者さん
●利用する情報及び利用方法
各研究機関でデータベース及びカルテに記録されている、2023年12月31日までに得られた臨床情報や治療計画等の画像等を利用します。
臨床情報等は個人が識別できない形にしてから各研究機関で共有を行い解析されます。また解析結果も研究機関で共有し、治療成績の検討を行います。

[個人情報の取り扱い]
各研究機関が定める個人情報保護の規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2023 年 12 月 31 日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。この期間を過ぎると個人を識別できない情報は取り除けなくなることがあります。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]
●量子科学技術研究開発機構　量子生命・医学部門 QST 病院
今井　礼子
千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1
電話；043-206-3306（平日；9：00～17：00）

●群馬大学重粒子線医学センター
岡本　雅彦
群馬県前橋市昭和町 3-39-22
電話；027-220-8378

●九州国際重粒子線がん治療センター
松延　亮
佐賀県鳥栖市原古賀町 3049 番地
電話：0942-50-8812（平日；9：00～17：00）

●神奈川県立がんセンター重粒子線治療管理室

加藤　弘之
神奈川県横浜市旭区中尾 2 丁目 3 番 2 号
電話番号：045-520-2222（代表）

●山形大学医学部東日本重粒子センター
佐藤　啓
山形県山形市飯田西 2-2-2
電話；023-628-5043（重粒子事務室）

●兵庫県立粒子線医療センター
ノルシャズリナ スライマン
兵庫県たつの市新宮町光都 1-2-1
電話；0791-58-0100（平日；9：00～17：00）